



令和7年4月30日
5月号 No.474
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川 623

みんなの「一秒の気遣い」で素敵な二小へ！

校長 西村 学徳

新緑が鮮やかで、爽やかな風に心が躍る季節となりました。昇降口前の中央の花壇には、様々な花が咲き誇り、また、観察池にはたくさんのオタマジャクシが泳いでいて、子供たちを楽しませてくれています。先日の全校保護者会には、多くの保護者の皆様にご参会をいただき、誠にありがとうございました。会の中でもお話をさせていただきましたが、各学級の様子を見て回ると、どの学級でも落ち着いて学習に向かっている子供たちの姿が見られ、子供たちの頑張りを感じています。



さて、4月のある日の朝のことです。私が4年生の学級の廊下を通っていた際、ある男の子が自分の水筒を、クラスの水筒用のかごに入れている姿を見かけました。その子は、自分の水筒を入れた後、かごの中で倒れていた他の水筒をさっと起こしてから自分の席に戻りました。私が見ていたことにも



気付いていない様子で、誰かが見ているからということではない中で、さりげなく行っていたその子の「気遣い」に朝から嬉しい気持ちでいっぱいになりました。私は、その場でその学級の子たちに、状況と私の嬉しい思いを伝えました。思いもよらず突然褒められたことにその子は驚き、照れくさそうにしていました。教室では、自然と子供たちから拍手が起き、とても温かい雰囲気になりました。

タイトルの「一秒の気遣い」は、今年の1月の全校朝会の際に子供たちに伝えた言葉です。「下駄箱の靴のかかとを揃えるだけで、見た目もきれいになり、下駄箱も整理されます。靴を入れる時に、靴のかかとを揃えることは一秒でできます。その一秒の気遣いをすることで、みんなが気持ちよく生活できます。」といった内容の話をしました。先述の男の子の行動は、まさにこの「一秒の気遣い」と重なる行動だったと思います。

本校には、時間・履物・あいさつ・清掃・姿勢・外遊び、これら6つのことを「揃える」中で、規律ある生活習慣を身に付けさせていくことをねらいとした「きりっと生活」という生活目標があります。この目標の根底にあるのも、やはり「人や物への思いやり・気遣い」であり、「他者意識」です。



この4月、プリントを配ったり集めたりする際に、「どうぞ」「ありがとう」「お願いします」と一言添えて丁寧に受け渡しをしたり、児童集会の際に時間に遅れないように体育館に集まったり、下級生の様子を気にかけて言葉をかけながら登校したり、子供たちの「気遣い」が感じられる素敵な姿がいくつも見られました。そんな子供たちの姿を見ていて、みんなで「気遣い」を大切にしながら、更に素敵な二小にしていきたい、子供たちの素敵な姿を見逃さず、しっかりと価値付けて、子供たちの他者意識を更に高めていく指導をしていきたいと強く感じた新年度のスタートとなりました。